

ゼロカーボンシティの実現に向けたロードマップ 策定委員会（第3回） 要旨

- 1 会議開催年月日 令和5年9月26日（火）午後1時30分
- 2 会議開催の場所 市役所本庁舎6階 大会議室C
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 会議の進行状況

【開会】

事務局より開会宣言 午後1時30分 開会

【挨拶】

議長が議会对応中につき不在により副議長より挨拶

【議事（1）ロードマップ素案について】

ロードマップ策定業務委託業者である平成理研株式会社より、ロードマップ素案の説明。
副議長から意見・質疑の有無の確認。

○A委員より質問。

→アクションプランを同時作成と聞いている。このことについて、現在の事務局の見解を聞きたい。

○事務局より回答。

→アクションプランも同時に策定予定。アクションプランは総合計画における実施計画といったイメージ。ロードマップとアクションプランは同時並行で進行管理をしていく。

○A委員より意見。

→13ページに廃棄物の現状としてCO₂排出量の記載があるが、こちらに掲載すべきなのは廃棄物の焼却量の方が好ましいのでは。

○事務局より回答。

→おっしゃるとおりである。焼却量に加え、再生利用率などといった内容が入るべきと考えている。

○B委員より質問。

→どんな取組においても費用がかかる。財政面の裏付けのある計画とすべきでは。

○事務局より回答。

→2030年、2050年を見据えた記述であるため、財政的裏付けを付与するのは難しい部分がある。しかし、当然市民・事業者・関係各課の合意形成は行ったうえでのロードマップとしたいとは考えている。また、リスクを表記することについて検討する。

○C委員より質問

→・アクションプランの策定予定時期は。

・部会は何回実施したのか。

○事務局より回答

→・ロードマップ策定と同時を目指している。

・部会の開催はしていない。本来であれば部会で素案を精査してから委員会に諮るべきであったことは承知している。委員の皆さまには申し訳ない。

○D 委員より質問

→今後の具体的なスケジュールはどう考えているのか。

○事務局より回答

→10月第2週目までに部会等で協議していく。庁外の懇談会も委員会と同時並行で行っていく。第1回目からこういった運用できているため、今後も同様の運用で進めていきたい。そのため、委員会での意見をもとに修正したものを懇談会に、といった一般的な流れとは少し異なるものとなることを承知いただきたい。

○C 委員より意見

→素案の具体的な数値が市の確定値となるのは好ましくない。

○事務局より回答

→概算値であり、確定値ではない旨を説明する。

○D 委員より質問

→文言の齟齬等についても部会の中で訂正していくという認識でよろしいか。

○事務局より回答

→お見込みのとおりである。

○E 委員より意見

→委員会での意見を反映させた形での素案を懇談会に示せないのは、いかがなものか。

○事務局より回答

→この素案の状態で、庁内庁外からそれぞれの意見を伺いたいたため、ご理解をいただきたい。

【議事（2）今後のスケジュール（案）について】

事務局から、今後のスケジュール案について説明。

副議長から意見・質疑の有無の確認。（意見なし）

【その他について】

事務局から、今後は部会や直接の協議を通し、ロードマップに掲載する内容について検討していく予定であることを説明。

○F 委員より意見

→委員会設置要綱によると、ロードマップを策定するのは委員会であるので、懇談会後に第5回の委員会を設けるべき。

○事務局より回答

→おっしゃるとおりである。慎重に検討する。

○議長が入場。発言。

→精査がされていない素案を提示してしまい申し訳なかった。委員の皆さまには策定までもうしばらくご協力をいただきたいので、よろしくお願ひします。

【閉会】

事務局より閉会宣言 午後2時30分 閉会